

【基本情報】

教科	国語	学年	1年	教科書	国語総合 現代文編（筑摩書房）
科目	国語総合（現代文）	単位数 （年間予定コマ数）	2 （64）	副教材	入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500（いいずな書店）三訂版 新版六訂 カラー版新国語便覧（第一学習社） 国語辞典
科目概要	近代以降の文章を読解する力を養い、深く考えたり自分の考えを持ったりする力を育みます。				
到達目標	現代文分野では、近代以降の様々な文章を題材に、主に以下の三つの学習活動に取り組みます。 （1）評論文を読む ・近代以降の評論文を題材に、筆者の主張がどのように展開しているか読み取る力を養います。 ・授業では、以下の三つの項目の習得を目指します。 ①理由説明関係を読み取る ②対比対立関係を読み取る ③因果関係を読み取る （2）小説を読む ・近代以降の小説を題材に、その作品の主題を読み取る力を養います。 ・授業では、以下の三つの項目の習得を目指します。 ①時間や場面の設定とその変化を読み取る ②登場人物および人間関係を読み取る ③誰の視点で描かれているかを読み取る （3）小論文を書く ・世の中の様々な出来事に対して自分の考えを持ち、それが読み手に伝わるような文章を書く力を養います。 ・授業では、100字程度の記述問題に関するトレーニングを重視します。 （4）その他 ・単語集や問題演習をととして、読解力の基盤となる広い知識と語彙の習得を目指します。 ・授業中のグループ活動などをととして、話す・聞く能力の向上を目指します。				
授業の進め方	教科書を基本としますが、広い知識の習得を目指して、適宜独自の教材を取り入れることがあります。 また、主に漢字に関する小テストを随時実施します。				
留意事項	教科書、副教材(国語辞典を含む)、プリント等を忘れずに準備してください。 授業中のグループ活動等に、主体的に取り組んでください。				
家庭学習	授業の予習を習慣にしてください(あらかじめ本文を読むのも立派な予習です)。 知らない単語は辞書を引き、ノートに記録して語彙を蓄積しましょう。使いこなせる言葉が一つ増えるごとに国語の力が増します。 漢字の読み書きは確実に習得しましょう。絶対に先延ばしにしないでください。				
備考	授業では「読む質」を重視しますが、国語力向上のためには同時に「読む量」が大切です。各自で取り組んでください。 授業の単元の内容に関連する本や、単元の著者の別の作品を読むなど読書活動を充実させ、知識を増やしていきましょう。 図書室を積極的に活用してください。図書室には多数の新書、ほぼ全ての岩波ブックレットがあります。 読解力のベースにあるのは知識量です。新聞に載っている内容を理解出来るようになるのが、一つの目安になります。 高校の現代文は、勉強しなくても出来る科目ではありません。日々の学習を大切にしてください。				

【評価の方法】

観 点	ポ イ ン ト	割 合	評 価 項 目
A. 関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	10%	・授業ワークシート、協働学習、小テスト、定期試験問題等、随時観点別の評価項目を設定し、評価します。 ※考査は現代文と古典を別々に実施しますが、評価は国語総合として行います（現代文50%、古典50%）。したがって、現代文か古典のどちらかだけでは好成績を上げることはできません。両方に力をいれて取り組んでください。
B. 話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ深めている。	10%	
C. 書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	15%	
D. 読む能力	文章を正確に読みとったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	25%	
E. 知識・理解	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	40%	

【年間計画】

単 元	配当時数	学 習 内 容	観 点 別 評 価					到 達 目 標
			A	B	C	D	E	
オリエンテーション	1		○					・国語総合のねらい、学習方法について理解する。
評論一	4	水の東西	○			○		・文章の具体例と抽象的表現を的確に読みとる。 ・論理の展開をつかみ、日本文化の特徴を理解する。
	5	テルミヌスの変身				○	○	・ローマ時代からの境界がどのように変容していったのかを理解する。
詩	3	二十億光年の孤独 自分の感受性くらい		○		○		・詩の形式について理解し、描かれている心情について理解する。
前期中間考査	1							
小説一	5	羅生門	○			○		・文章に書かれている人物の心情を表現に即して読み、その人物像をまとめることができる。 ・周到に計算された背景描写や比喩などの表現技巧を整理し、その効果と小説世界の構造を理解する。
評論二	4	話を複雑にすることの効用			○		○	・段落構成やそれぞれの段落の関係など、文章の筋道を的確にとらえることが出来る。 ・逆説的な論理展開を理解する。
	4	「食べ物」と「伝統」			○	○		・抽象的な概念を具体例を通して読み取る。 ・自分の暮らしている地域についての「伝統」について興味関心を抱く。
前期期末考査	1							
随想	4	ある時間、待ってみてください				○		・「ある時間待つ」ことが、時として問題解決の手段として有効に働くことを読み取る。
評論三	4	言葉と文化	○			○		・「言葉と文化」の関係性を筆者が示した具体例をもとにして理解する。 ・言葉そのものへの考察を深める。
	4	考える身体				○	○	・文章全体の展開の仕方をしっかりと押さえることで、「考える身体」とは何かを理解する。 ・きちんとした文章構造が読者に説得力を持たせることを味わう。
短歌・俳句	2	短歌・俳句	○	○				・短歌・俳句の特色に気づき、日本の伝統的な言語文化に対する関心を広げる。
後期中間考査	1							
評論四	5	情報が世界を動かす				○	○	・現代の人々とメディアとの関係を理解する。 ・文中の「ナチス」の例から、情報についての考えを学ぶ
	5	動的平衡		○		○		・「動的平衡」とはどのようなことかを理解する。 ・「生命」が「サステイナブル」な「システム」であるという筆者の論理を把握する。
評論五	4	ホンモノのおカネの作り方			○	○		・逆説やアイロニーが駆使された議論の奥深さに触れる。 ・「ホンモノの形而上学」とはどういうものかを読み取り「おカネ」にまつわる逆説を理解する。
記録・翻訳	3	空き缶	○		○			・小説の舞台となった場所や時代背景を理解する。 ・作中人物の記憶や体験がどのように物語として構成されているかを理解する。
後期期末考査	1							
表現	3	1 ことばを発する～						・グラフや図表・絵から情報を読み取る。